

《単位互換提供科目詳細（シラバス）》

* 科目 No. 0306

科目概要記入欄

1. 開設大学名	近畿大学工学部			科目開講 キャンパス	本学	
2. 科目名	正式科目名	居住環境学			クラス名	
	副題				配当年次	1 年
					受入学年	
	旧科目名					
	学問分野	番号	31	名称	工学（機械、電気通信、土木、建築など）	
	サテライトで開講される科目の科目群			A 群	B 群	
3. 担当教員名	市川尚紀					
4. 単位数	2 単位		5. 開講学期	後期		
6. 開講期間 曜日・時間	30 年 9 月 18 日（火）～ 31 年 1 月 22 日（火） 火曜日 10 : 40 ～ 12 : 10					
個別開講日	1 回目 9/18	2 回目 9/25	3 回目 10/2	4 回目 10/16	5 回目 10/23	6 回目 10/30
	7 回目 11/6	8 回目 11/13	9 回 11/20	10 回目 11/27	11 回目 12/4	12 回目 12/11
	13 回目 12/18	14 回目 1/15	15 回目 1/22	16 回目 /	試験日 /	
7. 基礎知識の有無	1. 「基礎知識を必要とする科目」 () ② 「基礎知識を必要としない科目」					
8. 募集人数 (総授業定員)	人 (人)		9. 定員超過時の 選考方法			
10. 科目内容・ 授業計画	特別な動力機器を用いず、自然要素である太陽光、太陽熱、風、雨水、大地などの持つ性質を建築的に利用して、快適な室内空間を形成することをパッシブデザインという。本講義では、パッシブデザイン手法の原理と設計の要点について、事例を参照しながら学修し、持続可能な建築デザインに向けた意匠設計と設備設計の基礎知識を身につけることを目的とする。 〔授業計画〕 - パッシブ設計理論の誕生、基本的な考え方 - 屋根と熱: 各地の気候特性の把握の仕方、屋根の形とコントロール、 屋根の表面と熱のコントロールに関する設計手法 - 屋根と熱: 屋根の断熱・保温、冷却に関する設計手法 - 壁と熱: 壁の形と熱のコントロール、壁の断熱・保温に関する設計手法 - 床と熱: 床の断熱・保温、蓄熱に関する設計手 - 開口部と熱: 光の利用、開口部による日射のコントロール、 昼光の有効利用に関する設計手法 - パッシブ手法事例分析 - 建物の形と熱: 建物の表面積と熱に関する設計手法 - 空間構成と熱: 空間構成と暖房方式、熱容量と断熱設計の組み合わせ、 年較差・日較差に関する設計手法 - 空間構成と熱: 熱特性を活用した平面・断面の構成、換気に関する設計手法 - 開口部と風: 建物の形と周辺気流に関する設計手法 - 大地と熱: 地中温度の利用、樹木による光と熱のコントロールに関する設計手法 - 湖沼池水: 水の熱容量の利用、結露の原理と対策に関する設計手法 - 実験住宅のパッシブデザイン: 実験住宅におけるパッシブ設計手法 - レポート講評 【試験期間】 定期試験					
11. 試験・評価方法	定期試験 50%, 事例分析レポート 20%, オリジナルパッシブ手法レポート 30%					
12. 別途負担費用						
13. その他特記事項						
14. サテライト科目の社会人受講について	科目等履修生（単位付与）として受け入れ				可	否
	聴講生（単位認定不要）として受け入れ				可	否